

平成28年度 大学院 工学研究科 改組転換 電子情報生命工学専攻設置

近年、先端科学技術分野の研究では、エレクトロニクスと様々なレベルで結びついた工業技術開発、情報処理の高度化・複合化に関するソフトウェア・ハードウェア、あるいは電子工学と情報工学との融合化などの「多視覚化」の重要性が認識されるようになってきています。このような社会の動向を受け、工学研究科電子情報工学専攻では、設置当初からこれまで、電子工学と情報工学の相乗的連携を旨とした教育研究を鋭意進めてきていました。

しかし、このような科学技術の高度化・細分化に呼応して、社会が大学に期待する人材の技術育成レベルは、学部課程から修士課程へ、さらに専門的な博士課程レベルにグレードアップされていく傾向にあります。

また、新規産業の開拓に結びつく次世代テクノロジーには、専門化された複数の領域にまたがる基本技術の組み合わせから生まれることも多く、細分化・多様化する科学技術を習得しつつも、異分野技術に注視しそれを理解する幅広い適応力がまた必要とされる時代となりました。このよう

に、電子情報工学専攻においても、従来の専門分野の枠を越えて、目的に応じ多様な弾力的に各専攻を編成・運用する努力が一層求められるようになってきました。

この改組転換に当たっては、学校法人北海学園、大学、工学研究科の3者が密接な連携をとり、周到に準備し、今年9月に文科省に新専攻設置を届け出、これが受理されました。平成28年度からは、電子情報工学専攻修士課程は、新しい電子情報生命工学専攻修士課程としてスタートを切ることになりました。

さらに、修士課程の入学試験を終え、新年度は、新専攻に最初の入学生を迎えることが決まっています。

修士課程が完成する(最初の卒業生が出る)のは平成30年3月ですが、その年の4月には、博士(後期)課程にも電子情報生命工学専攻を設置すべく、すでに検討を開始しました。



「高大接続改革実行プラン」研修会

「高大接続改革実行プラン」研修会開催

昨年12月22日の中央教育審議会答申「新しい時代における高等教育のあり方」に基づき、文科省決定の「高大接続改革実行プラン」(以下プラン)が2015年1月16日に発表された。



左からモンゴル国文化教育大学牧原創一理事長、トムルオチル学長、学校法人北海学園森本正夫理事長、木村和範学長

北海学園大・北海道大 モンゴル文化教育大学 交流協定締結

学校法人北海学園・北海学園大学および北海道大とモンゴル文化教育大学は9月14日、科学技術と教育における交流促進、かつ相互理解と友好を深めるため協定を締結した。具体的な内容は次の通り。



モンゴル文化教育大学(ウランバートル)

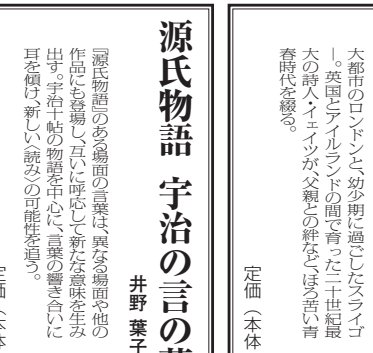
さわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体改革についてに基づいて、文科省決定の「高大接続改革実行プラン」(以下プラン)が2015年1月16日に発表された。

教職員の理解を深める目的でプランの研修会が開かれた。株大学ソリューション・パートナーズ小島富夫マーケティング&コンサルティングフェローを講師に「入試環境の変化と高大接続改革実行プランの概要」と題する講演に、教職員約60名が参加し活発な意見交換も行われた。

本学工学部と北海学園札幌高等学校 高大連携事業覚書調印

昨年、本学と北海学園札幌高等学校が、双方における教育内容の質的向上と学生・生徒の資質向上を図るため締結した高大連携事業協定に基づき、11月9日、工学部が覚書を取り交わした。覚書には、北海学園札幌高校・大西修夫校長、工学部長真柄祥吾教授が署名・捺印した。

意欲を高め進路決定に向け視野を広げる場として、学部講師の講義を受ける機会を設ける。また、北海学園札幌高校は、工学部の教職課程を受講している学生を夏季及び冬季休業に行う補充講習のチューターとして受け入れるほか、協議の上、教育実習生として受け入れを行うなどとなっている。



左から北海学園札幌高校・大西修夫校長、木村和範学長、工学部長・真柄祥吾教授

平成27年度9月期卒業生・修士生数

学部等	学科および研究科	H27年度9月期
経済学部	1部 経済学科	6
	2部 地域経済学科	4
	3部 経済学科	12
	4部 地域経済学科	6
経営学部	1部 経営学科	3
	2部 経営情報学科	5
	3部 経営学科	8
	4部 経営学科	5
法学部	1部 法政学科	6
	2部 政治学科	5
	3部 法政学科	12
	4部 政治学科	3
人文学部	1部 日本文化学科	1
	2部 英米文化学科	3
	3部 日本文化学科	2
	4部 英米文化学科	1
工学部	1部 社会環境工学科	4
	2部 建築工学科	7
	3部 電子情報工学科	8
	4部 計	7
大学院	経営学研究科(修士)	52
	文学研究科(修士)	44
大学・大学院 合計	計	96
	大学院	1
	計	1
	計	2
	大学・大学院 合計	98

卒業生96名(経済学部28名・経営学部16名・法学部26名・人文学部7名・工学部19名)と大学院修士生2名が授与された。

主な連携事業の内容は、北学園札幌高校の生徒が勉学

卒業生96名(経済学部28名・経営学部16名・法学部26名・人文学部7名・工学部19名)と大学院修士生2名が授与された。

木村学長式辞(要旨)

本学の長い歴史において、経営学部を構成する経営学科が経済学部を設置されて50年の節目の年に卒業する皆さん、卒業おめでとうございませう。ご列席くださった関係各位にも敬意を表します。

年(平成32年)は、創設70年の節目に当たります。有為な人材の多さと本学が紡いできた歴史・伝統は、本学の誇りであり、このことを皆さんと共有したいと願っています。

1からの病院経営

木村憲洋 堀江亮川 上智子 編著 関谷浩行 監修 他共著
第一線で活躍する医師・看護師・公認会計士・経営学者が、病院経営の初歩から応用まで、さまざまな病院・病種・病棟の現場で実践事例を踏まえながら、そのエッセンスを解説する。

定価(本体二、四〇〇円+税) 碩学舎

ビジネスミーティング英語力

一般社団法人英語教育学会IP調査研究特別委員会(一般社団法人国際ビジネスミーティング協会)著 寺内一監修 藤田玲子・内藤永徳著 他共著
ビジネスの現場で英語が国際共通語として使われる場面が増えている。英語によるミーティングでシステマティックに英語を学ぶ。インプット・アウトプットを繰り返して英語力をアップさせる。

定価(本体一、五〇〇円+税) 朝日出版社

社会的ネットワークを理解する

C.カドゥン 著 五十嵐祐監訳 古谷嘉一郎 監修 他共著
社会的ネットワークの形成・維持を支える人間行動の基本原理について、SNSの普及や環境変化も踏まえ、社会的ネットワークの知見を体系的に理解する。

定価(本体三、四〇〇円+税) 北大路書房

介護・医療の施策と財源

自治体からの再構築
介護保険の改正・広域連立病院の状況は近年の自治体財政に大きな影響を及ぼしている。自治体財政の動向を踏まえ、介護・医療の施策と財源について、具体的な事例を踏まえ、そのエッセンスを解説する。

定価(本体三、二〇〇円+税) 同文館出版

首相秘書官が語る 中曽根外交の舞台裏

中曽根内閣の官邸秘書官として担当した秘書官による回顧録。秘書官時代の貴重な重要政策の第一線で活躍した外交官時代の証言から現代史の重要な局面の舞台裏がみえる。

定価(本体二、六〇〇円+税) 朝日新聞出版

幼年と少年時代の幻想

大都市のロンドンと幼少期を過ごしたW.B.イェイツ。英国とアイルランドの間で育った二十世紀最大の詩人W.B.イェイツが父親との絆を綴る青春時代を綴る。

定価(本体二、二〇〇円+税) 英宝社

源氏物語 宇治の言の葉

源氏物語のあふれる豊かな想像力や他の作品に登場し、互いに呼吸して新たな意味を生み出す。宇治の物語を中心に、源氏の言の葉に耳を傾け、新しい読み方の可能性を追求。

定価(本体七、五〇〇円+税) 森話社

学長室から

10月25日(札幌会場)、11月1日(旭川会場)の保護者懇談会における学長挨拶(要旨)は以下の通りです。

◆ ◆ ◆

平素より、本学の教育と研究にご理解と協力を賜りまして、ありがとうございます。次代を担う学生が建学の精神(開拓者精神)を体得して、自立と自律の心をもって果立って欲しいと願う本学は、皆様をたいして学業生活にかんする情報を提供すべく、この懇談会を開催しました。

本学では、毎年、教育課程の編成に於いて、業界団体の方々と幅広く意見を交換しております。先日の意見交換会では、学生が就職先を選ぶときには、ホームページに

学生一人一人の心に寄り添って

掲載される「社長のメッセージ」をよく読むことが重要であるという点で意見の一致を見ました。社長のメッセージには、会社の経営方針、会社の雰囲気、社長の熱意などがにじみ出ているに他なりません。

本学では、会社の規模に拘わらず、そして有名か、有名でないか、あるいはまた、勤務地が道内か、道外かにかかわらず、社長のメッセージに共感を覚えたならば、まず、企業を訪問するようにと助言しています。本学の学びを通じて、社長メッセージを含めて、物事の本質を見抜く力を付けて欲しいと願っております。

どのような職種に就きましようとも、またどのような地域で働くことにならましようとも、経験がないだけに不安を覚えます。どちらの場合も、親としては当然のことだと思います。しかしながら、不安や心配はありましようとも、我が子を信頼し、見守り、背中を押してやるのが、大切なのではないのでしょうか。親から信頼されていることを感じ取った子どもは、必ず、その信頼に応えようと努力します。

5年後(2020(平成32)年)には、本学の母体となった北海短期大学の創立から数えて、70年の節目を迎えます。この間、若い、育んできた本学の歴史と伝統は、本学の誇りとすべきものでございませう。在学生はもとより、皆様とともに、この誇りを共有したいと願っています。

本学は、「研究なくして教育なく、教育なくして研究なし」という教育理念と研究理念を形にして、北海道における高等教育を牽引すべく、今後とも、学生一人一人の心に寄り添って参ります。

【学長 木村和範】

法学部教授 中元 啓司



明が公表され、パブリックコメントの手続きに付された。六月、中間試案に対する各界の意見の概要が公表された。同部会の会議は継続して行われており、審議が順調に進めば、年内にも、以下のような内容の試案の検討を踏まえた要綱案の作成が予定されている。①商法制定以来

トピックス 41

運送・海商関係の分野において

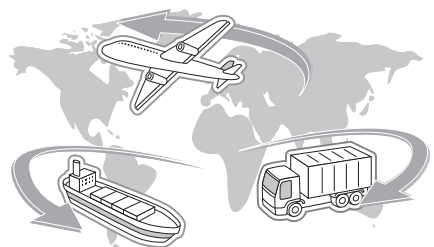
運送ルールの現代化

商法(運送・海商関係)等の改正の動向

運送・海商関係の分野において、条約の批准に伴う国際海上物品運送法等の特別法の制定をめぐり、明治三十二年の商法制定以来一五五年間、実質的な見直しはなされていなかった。平成二六年二月、法務大臣の諮問により法制審議会商法(運送・海商関係)部会が設置された。平成二七年三月、同部会が成立した商法(運送・海商関係)等の改正に関する中間試案および事務当局によるその補足説

の社会・経済情勢の変化へ対応する改正。航空運送分野では、約款の利用より、法の不備を二世紀以上も補ってきた。この航空運送に関する規定が新設される。また飛行機・トラック・船舶を組み合わせる荷物を運ぶ複合運送に関する規定の新設。また、現在は一従業員にすぎない船長の責任を軽減するために商法の船長の権限・責任規定を削除する。②荷主・運送人その他の運送関係者の合理的な利害の調整のための改正。内航船の海上運送において、船舶を航海に適した安全な状態に置くべき海上運送人の義務(堪航能力担保義務)の過失責任化

危険物に関する荷送人の責任の厳格化に関する規定。③海商法制に関する世界的な動向に対応する改正。船舶衝突に関する債権の短期消滅効(二年・海難救助における海洋環境の保全に係る特別補償の請求権の新設)など、試案では、定期備付金に関する規定を商法に



平成27年度 保護者懇談会

保護者懇談会担当学部長 経営学部長 石嶋 芳臣



平成27年度の「保護者懇談会」が、10月4日(日)函館会場を皮切りに、札幌会場10月17日(土)工学部山鼻校舎・10月18日(日)豊平校舎・10月25日(日)帯広会場、11月1日(日)旭川会場にて、それぞれ実施されました。各会場での参加申込者は、函館会場25組35名、札幌会場38組52名、帯広会場34組46名、旭川会場34組47名と、非常に多数の保護者の方にご参加頂き、教職員一同、感謝申し上げます。

当日は、「全体説明会」にて



全体説明会(札幌会場)

学生が悩みポイント、保護者の方に求めたい支援、企業が求める人材など就職活動に



個別相談会(函館会場)

引き続き実施した「個別相談会」では、本学について日頃、疑問に思っていることや質問・相談等について、学生課による奨学金などのご相談、キャリア支援センターによる就職活動支援に関するご相談のほか、単位取得、学業成績などに関するご相談については、学生が所属する各学部の教職員が個別に対応させて頂きました。学生の講義・ゼミ、部活・サークルでの活躍、

大学と保護者のより一層の連携を

「保護者懇談会」は、保護者の皆様へ本学の教育と取り組みを説明する機会を設け、保護者の皆様との相互理解を深めることを目的に、これまでの札幌豊平校舎と工学部山鼻校舎での実施に加え、平成21年度より「函館」・「帯広」

研究室の窓

工学部准教授 内田 ゆず



今年6月から、パーソナルロボットのPepperが一般家庭向けに販売されています。Pepperと一緒に暮らすという試みは、「まるで近未来の生活のようだ」、「家族の会話の盛り上げ役になってくれる」と、人型ロボットとの生活を楽しんでいる方が注目を集めています。

いるのはなぜでしょうか？ 家族というからにはコミュニケーションが必要で、人間には感情があります。自分の感情や思考を他者に伝達するために言葉を 사용합니다。「家族になれる人間っぽいロボットを作るには、人型の外見にするだけでは不十分で、言葉や感情をもたせることが重要な条件になります。」

コンピュータやロボットに人間の言葉を理解させるという試みは、自然言語処理という名称で人工知能研究の一分野として取り組まれてきました。近年では人間の感情を理解させ、ロボット自身にも感情をもたせるための

研究も盛んになっていきますが、まだまだ表面的な情報を処理しているに過ぎません。私自身は、人間の赤ちゃんのように言葉を覚えるコンピュータや、文章から感情を読み取るシステムの開発を目指して研究をしてみました。現在は、日本語のオノマトペをコンピュータに理解させようという試みを行っています。

オノマトペとは擬音語や擬態語のことで、日本語には特に多く存在しています。オノマトペは生き生きとした表現力を持ち、感情を言い表すときに大いに役立ちます。

【専門：自然言語処理、人工知能】

訃報

●五十嵐清先生 本学元法務研究科教授の五十嵐清先生(91歳)が平成27年9月12日、本学名誉教授の小山昇先生(98歳)が平成27年10月22日、本学元経済学部の長岡新吉先生(85歳)が平成27年11月1日に逝去されました。謹んで哀悼を申し上げます。

●長岡新吉先生 <経歴> 昭和21年東京帝国大学法学部政治学卒業、昭和23年東京大学法学部法律学卒業、昭和25年北海道大学助教授、昭和34年北海道大学教授、昭和37年北海道大学助教授、昭和38年北海道大学経済学助教授、昭和45年同大学教授、平成6年本学経済学教授、平成13年退職



絵画ギャラリー7 菱川 和子 『対話』

「旭川」の3会場を追加し、札幌までなかなか足を運ぶ時間の取れない保護者の方々にも、ご自身の都合の良い会場を選んで参加して頂けるよう開催しております。

今後も、こうした機会を通じて、保護者の方々から本学に対する貴重なご意見を伺い、今後の大学運営に反映させていたたくことはもちろん、宜しく申し上げます。

平成27年 司法試験合格

9月8日、法務省から平成27年司法試験の結果が発表され、今年は1,850人が合格した。

本学法務研究科(法科大学院)からは1人が合格した。これで本学修了生8年間の合格者数合計は32人となった。

司法修習支援金給付

9月25日、司法試験合格祝賀会に先立ち、法務研究科長、教育振興委員長、事務部長、大学院事務部長同席の



合格者の池田翔一さん(右から2番目)へ司法修習支援金を授与

下、今年度司法試験に合格し、司法修習生として任じられる池田翔一さんに対し、学長(教育振興会長)から激励の言葉とともに司法修習支援金が給付された。

併せて、合格に導いた法務研究科の諸先生、さらには関係の皆様にたいして、お礼申し上げます。これまで、親身のご指導を頂戴しました。合格した本人も、自覚しているのではないかと思います。諸先生をはじめとする皆様、心からお礼申し上げる次第です。誠にありがとうございました。

私は、大学時代に会った弁護士の方に憧れて、法律家を目指してこれまで勉強をして参りました。2度目の受験ではあったのですが、本年度の司法試験に合格することができ、法律家への扉が開いたことに大変嬉しく思います。それと同時に、司法試験に合格するまでの道のりは厳しいものでしたので、合格できたことに安堵しております。



池田翔一

合格者の声

困っている人に寄り添える法曹に
憧れた弁護士の方のように、刑事事件と関わりをもち続けたいと思っています。被書者に寄り添うのはもちろん、社会で疎ましがちな被告人の言葉にもしっかりと耳を傾け、絶対に冤罪を生むことのないよう尽力することが法曹としての重要な意義であると考えるからです。

ができたのは、様々な方に支えて頂いたからです。両親は、経済的な支えはもちろんです。精神的にもできるだけブレスジャーをかけたように接してもらっていたと思います。また、彼女にも大いに支えてもらいました。そして、法律の勉強を教えて下さったのは、本学法科大学院の先生方です。時には勉強が嫌にならぬよう励ましてくださる。合格に至るまで、私に支えられていたことを、この原稿を書きながら実感しています。また、合格に至るまで、私は本学法科大学院の充実した学習環境を存分に活用させて下さりました。本学を支えて下さっている学校関係者の皆様にも感謝いたします。



出席したご遺族および関係者

平成27年度「浅羽祭」挙行

学校法人北海学園主催による平成27年度浅羽祭が10月22日(本学4号館10階第3会議室)において厳粛に執り行われた。

に、浅羽先生をはじめ物故された歴代の理事長、学長、校長、さらには、この一年間に逝去された教職員及び学生・生徒のご冥福をお祈りする慰霊祭である。

独立行政法人日本学術振興会では、学術研究の振興を目的とした科学研究費助成事業の審査の質を向上させるため、審査の公正性・公平性について検証を行い、その検証結果に基づいて平成20年度からは、有意義な審査意見を付した審査委員の表彰を行っています。



工学部 小幡卓司教授

10月30日、平成27年度の表彰者が発表され、今年度は約5500名の第1段階審査(書面審査)委員の中から189名が選出されました。その中で本学からは、工学部小幡卓司教授が表彰され、後日、木村和範学長から表彰状と記念品が伝達されました。

法務研究科教授 (法科大学院) 大西有二



マイナンバー(個人番号)法(以下、法と)が、ま

未来展望

マイナンバー法の施行に寄せて

他方、一元管理は必ず分散管理を、セキュリティを幾重に配してもなお、ルール違反や(自分自身を含む)単

か、かの「政権交代」直前の(根拠薄弱な?)希望や(想定外の?)昨今の政治状況のように、振れ幅が大き過ぎないか、気になる。こうした傾向に手を貸すことがないよう、自省自戒し、堅実な議論を築くための「偽装」のない土壌の保護育成に今後

たための機器がどこに・どの程度の密度で整備されるのか問題である。われわれ庶民は、マイナンバーを他人に不用意に知らせないなど、原始的な自己防衛に努めるほかはない。

経済学部教授 笠嶋修次

私は、2015年8月から9月にかけてタイのバンコク所在のカセサート大学経済学部で客員研究員として在外研修を行いました。カセサート大学は農学部を創設母体として1943年に設

ました。学部内の大フロアに大宴会場なみの舞台装置が設置され、夜6時頃から大学の歌唱クラブ所属(?)の学生による流行歌の歌唱と、古典舞踏クラブの学生によるタイの古典ダンスの公演から始まります(写真参照)。経済学部の教員および職員の大勢(2000名程度)が出席し、学生の歌唱と演技を鑑賞しながら丸テーブルを囲んで会食・談笑します。次に、退職する教員および職員一人ずつについて、その人となりと特徴を学生がパロディ化して演じたビデオが放映され、観衆の大笑を引き起こします。経済学部長および来賓の経営学部長等のご挨拶のあと、退職する教員および職員が一人ずつ感謝のスピーチを行います。

マイナンバー(個人番号)法(以下、法と)が、ま

適用を受ける。さらに、あの住基ネットの利用範囲が各種行政サービスや福祉関連に限定されていたのに対して、マイナンバーの利用範囲は銀行口座情報などにも拡大される予定である。最高裁判平成二〇・三・六判決(住基ネット訴訟)は、データマッチングや名寄せが行われる具体的危険性を認めることはできないとして、住基ネットの創出であり、多くの雇用を生み出している。

自己情報が「いつ・どこで」やりとりされたかの履歴を確認できる。しかし、その

たの機器がどこに・どの程度の密度で整備されるのか問題である。われわれ庶民は、マイナンバーを他人に不用意に知らせないなど、原始的な自己防衛に努めるほかはない。

たの機器がどこに・どの程度の密度で整備されるのか問題である。われわれ庶民は、マイナンバーを他人に不用意に知らせないなど、原始的な自己防衛に努めるほかはない。

たの機器がどこに・どの程度の密度で整備されるのか問題である。われわれ庶民は、マイナンバーを他人に不用意に知らせないなど、原始的な自己防衛に努めるほかはない。

退職送別会にタイの大学の家族的暖かさを見た

9月下旬に定年で退職される教員と職員が合同送別会が開かれ、これに招待され

に驚愕・感動しました。タイの大学では近年、大学改革が進められて来ています。趣旨は大学の教育と研究に競争原理を導入し効率性向上を実現するため、国立大学に予算面での自立性を導入するというものです。カセサート大学経済学部でも若手教員の非公務員化とともに、自主予算確保を目的として入学学生数を増やすための新教育プログラムの創設(例えば社会人向けの大学院プログラムや英語で授業を行うインターナショナル・プログラム)などが検討・実行されてきています。また、経済学部としての魅力と教育力を高めるためのファカルティ・デイ・イベントも検討されています。毎週、検討会議が行われていて、日・タイを問わず、大学は同様の課題と試練に直面しているようです。



教育研究交流会



タイカセサート大学 在外研修報告



タイカセサート大学の様子

平成27年度 教育研究交流会

11月18日、地域経済情報検査室において、教育開発運営委員会主催の教育研究交流会「初心者向け ArcGIS (地理情報システム) 入門セミナー」が開催された。ArcGISは、現実世界の場所や空間に関連するデータを幅広く扱えるため、仮説を立ててデータを収集し、統計データ等を地図上で可視化した上で集計、分析することができる。セミナーでは実際に簡単な解析を行いながら概要の説明が行われた。



工学部・前田秀基教授

私は最初の講演で、相対性理論の考え方とブラックホールの概念についてお話ししました。古代から人類は時間と空間を絶対的な概念と考えてきましたが、この常識をアインシュタインは特殊相対性理論によって根底から覆しました。相対性理論によると、時間と空間とは時空という単一の実体の二つの側面であり、時間の間隔や空間的な距離は観測する人の運動状態によって変化します。また重力を記述する一般相対性理論によれば、重力を持つ物体は時空を歪め、この歪み方がアインシュタイン方程式によって決定されます。そして、このアインシュタイン方程式の解として、何者も脱出できないほど極度に歪んだ時空領域であるブラックホールが実現します。

本講演では単なるお話だけに過ぎない、しかしできるだけわかりやすい説明のため、中学校で習うピタゴラスの定理の類推を用いました。受講者にとって非常にチャレンジングな内容であったにもかかわらず、多数の良い質問がありました。世界のあり方に直接関係する相対性理論は専門家でない方にとっても非常に興味のある内容だと思っております。今後とも平易な言葉による説明を心がけたいと思います。



工学部・瀨戸准教授

私は「現代宇宙論・宇宙の誕生から終焉まで」と題して話しました。一般相対性理論によると、重力は時間と空間の歪みとして表され、物質のエネルギーと時空の曲がり結びついています。このことは時間と空間は物質が存在する場所を提供する単なる「容器」として存在しているわけではなく、それ自体が変動する物理的実体であることを意味します。この講演では、まず簡単にまとめた宇宙の進化の年表を提示し、宇宙進化の歴史の流れを紹介しました。その後、なぜビッグバン宇宙モデルが確立したのかを解説し、さらに宇宙初期のインフレーション、ダークマター、ダークエネルギーといった現代宇宙論における重要な3つの要素にも言及し、現代宇宙論の全容を概説しました。

私は「現代宇宙論・宇宙の誕生から終焉まで」と題して話しました。一般相対性理論によると、重力は時間と空間の歪みとして表され、物質のエネルギーと時空の曲がり結びついています。このことは時間と空間は物質が存在する場所を提供する単なる「容器」として存在しているわけではなく、それ自体が変動する物理的実体であることを意味します。この講演では、まず簡単にまとめた宇宙の進化の年表を提示し、宇宙進化の歴史の流れを紹介しました。その後、なぜビッグバン宇宙モデルが確立したのかを解説し、さらに宇宙初期のインフレーション、ダークマター、ダークエネルギーといった現代宇宙論における重要な3つの要素にも言及し、現代宇宙論の全容を概説しました。

講座1 ブラックホール 一般相対論が生んだ 時空の結晶

つ物体は時空を歪め、この歪み方がアインシュタイン方程式によって決定されます。そして、このアインシュタイン方程式の解として、何者も脱出できないほど極度に歪んだ時空領域であるブラックホールが実現します。

講座2 高エネルギー天体に 暗躍するブラックホール

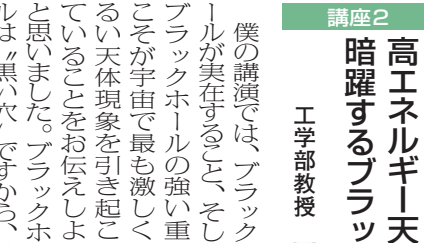
僕の講演では、ブラックホールが実在すること、そしてブラックホールの強い重力こそが宇宙で最も激しく明るい天体現象を引き起こしていることをお伝えしようと思いました。ブラックホールは「黒い穴」ですから、それ自体を見ることはできません。でもブラックホールの存在は、飲み込もうとしている物質の放つ光やブラックホールに引きつけられた天体の輝きを調べることによってわかるのです。そのようなブラックホールが居座っていることが、銀河の中心には太陽の100万倍〜100億倍の重さのブラックホールが居座っています。ブラックホールと銀河が一緒に成長する過程を調べることは現代天文学の最も重要な研究テーマの一つとなっています。

講座3 現代宇宙論 宇宙の誕生から終焉まで

私は「現代宇宙論・宇宙の誕生から終焉まで」と題して話しました。一般相対性理論によると、重力は時間と空間の歪みとして表され、物質のエネルギーと時空の曲がり結びついています。このことは時間と空間は物質が存在する場所を提供する単なる「容器」として存在しているわけではなく、それ自体が変動する物理的実体であることを意味します。この講演では、まず簡単にまとめた宇宙の進化の年表を提示し、宇宙進化の歴史の流れを紹介しました。その後、なぜビッグバン宇宙モデルが確立したのかを解説し、さらに宇宙初期のインフレーション、ダークマター、ダークエネルギーといった現代宇宙論における重要な3つの要素にも言及し、現代宇宙論の全容を概説しました。

市民公開講座 一般相対性理論の世界 現代宇宙論とブラックホール

平成27年度の第二回市民公開講座が、爽やかな秋晴れとなった10月3日の午後1時に開催されました。定員を大幅に超える申し込みがあったため会場は大教室へ変更し、200名を超える受講者が講義に耳を傾けました。



大勢の受講者が熱心に耳を傾けた

第35回 開発特別講座 人口減少社会とは何か 地方創生とは何か

本学開発研究所は10月9日、16日、23日の3回にわたり、上士幌町生涯学習センターで第35回開発特別講座を開催した。共通テーマは「上士幌町の未来と地方創生」。講師の先生方から講演内容を伺った。

第2回・10月16日 人口減少社会を 切り開く人材育成

上士幌町は人口5000人の小さな農村であり、人口減少が進んでいる。しかし、働いている人の割合(就業率)が北海道平均よりも高く、生活保護受給者の割合は北海道平均よりも低い。つまり小さな町でも住民は十二分に能力を發揮している。若い人の結婚率も高く、合計特殊出生率も1.72と全国平均よりも高い。酪農が盛んな地域として、近年はふるさと納税の町として全国に知られている。課題は若い人、特に若い女性が少なく町外へ転出してきていることだ。この背景には、福祉職や役場等の非常勤に女性の就職が限られている事がないことがあげられる。福祉職や役場等の非常勤に女性の就職が限られている事がないことがあげられる。

第1回・10月9日 地方創生とは何か 人口減少社会の活路

日本の市町村の半分以上が消滅可能性市町村であるとした「増田レポート」の衝撃は大きかった。同レポートは2010年から2040年までの30年間で20歳から39歳までの女性人口の減少率が50%以上の市町村が896にのぼり、これらの市町村では今後たとえ出生率が上昇しても出生者数が増えず、人口は大きく減少すると見込まれる。人口や地域経済、地方財政などに関連させながら、市町村が策定中の総合戦略と具体的な施策展開について話した。つまり、厳しい国財政の状況から新たな国の財政支援措置が期待できないこと、希望や願望の数値ではなく現実的かつ根拠のある目標数値を盛り込んで総合戦略を立てる必要があること、上士幌町のように「地方版人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定を求めている。

第3回・10月23日 ふるさと納税と 地方創生

上士幌町は昨年、全国3位となる9.7億円のふるさと納税を集め、全国的な注目を浴びた。2011年度まで年1千万円前後で推移していたのが、急に資金が集まるようになったのは、地元産の牛、アイスクリーム、ミルクジャムなど魅力的な返礼品を揃えたことに加え、ポータルサイトを積極活用したことによる。このようにふるさと納税は昨今、実質2千円の自己負担で、全国の特産品を選び取り見取りで手に入れる「美味すぎる制度」として、特に時間とお金に比較的余裕のある層を中心に急速に広がっている。自治体からすると、集まった寄附金は返礼品の経費として消えてしまいが、地域経済には返礼品需要という特需効果をもたらす。こうした制度に対しては地方自治や地方財政の専門家の間では批判が広がっており、今後制度の縮小も考えられる。地域は国に定めた付いた地域づくりを進めていくべき。

第38回 法学部カフェ 第38回法学部カフェが10月30日、34番教室で開催された。今回は「仕事を知らず」の企画の第1段階で、「カサイのセカイ」家庭裁判所調査官の話し手は札幌家庭裁判所調査官・横井信人氏、聞き手は法学部・松尾秀哉教授。

家族間のもめ事(家事事件)や少年事件を取り扱う家庭裁判所には、家庭調査官が配置されている。横井氏は「家庭の平和の回復や子ども福祉、少年の更生を目指す」という家庭裁判所の理念のもと、法律のみではなく、心理学や教育学、社会学の知識を活用して、家事事件の解決や犯罪を犯した未成年者の立ち直りのお手伝いをするのが家庭調査官の仕事」と説明した。調査官は、離婚などの紛争当事者と子ども、事件を犯した少年と保護者の面接、さらに家庭や学校などを訪問。詳細に聞き取り調査を行って分析し、報告書を作成する。

第9回「若いうちに海外へ行って」理由

11月6日/D50番教室/講師:砥石航治氏(トロピカルリゾート・ライフスタイル株式会社/ホール支店マネージャー/法学部OB) 学生時代からバックパッカーとして世界中を旅してきた砥石氏は「体力や時間がある若いうちに海外へ行き、非日常から自身の幅を広げてほしい」と語った。また「旅をする」と「コミュニケーション能力・適応力などが向上する」とも話した。

第10回「Aloha! ハワイのビジネス・ストーリー」

11月11日/D41番教室/講師:高澤秀吉氏(Pacific Hi-Tek Inc.社長) 上ること、仕事においても役に立つ旅の魅力を紹介した。

第9回「若いうちに海外へ行って」理由

11月6日/D50番教室/講師:砥石航治氏(トロピカルリゾート・ライフスタイル株式会社/ホール支店マネージャー/法学部OB) 学生時代からバックパッカーとして世界中を旅してきた砥石氏は「体力や時間がある若いうちに海外へ行き、非日常から自身の幅を広げてほしい」と語った。また「旅をする」と「コミュニケーション能力・適応力などが向上する」とも話した。

第10回「Aloha! ハワイのビジネス・ストーリー」

11月11日/D41番教室/講師:高澤秀吉氏(Pacific Hi-Tek Inc.社長) 上ること、仕事においても役に立つ旅の魅力を紹介した。

第9回「若いうちに海外へ行って」理由

11月6日/D50番教室/講師:砥石航治氏(トロピカルリゾート・ライフスタイル株式会社/ホール支店マネージャー/法学部OB) 学生時代からバックパッカーとして世界中を旅してきた砥石氏は「体力や時間がある若いうちに海外へ行き、非日常から自身の幅を広げてほしい」と語った。また「旅をする」と「コミュニケーション能力・適応力などが向上する」とも話した。

第10回「Aloha! ハワイのビジネス・ストーリー」

11月11日/D41番教室/講師:高澤秀吉氏(Pacific Hi-Tek Inc.社長) 上ること、仕事においても役に立つ旅の魅力を紹介した。

第9回「若いうちに海外へ行って」理由

11月6日/D50番教室/講師:砥石航治氏(トロピカルリゾート・ライフスタイル株式会社/ホール支店マネージャー/法学部OB) 学生時代からバックパッカーとして世界中を旅してきた砥石氏は「体力や時間がある若いうちに海外へ行き、非日常から自身の幅を広げてほしい」と語った。また「旅をする」と「コミュニケーション能力・適応力などが向上する」とも話した。

第9回「若いうちに海外へ行って」理由

11月6日/D50番教室/講師:砥石航治氏(トロピカルリゾート・ライフスタイル株式会社/ホール支店マネージャー/法学部OB) 学生時代からバックパッカーとして世界中を旅してきた砥石氏は「体力や時間がある若いうちに海外へ行き、非日常から自身の幅を広げてほしい」と語った。また「旅をする」と「コミュニケーション能力・適応力などが向上する」とも話した。

第10回「Aloha! ハワイのビジネス・ストーリー」

11月11日/D41番教室/講師:高澤秀吉氏(Pacific Hi-Tek Inc.社長) 上ること、仕事においても役に立つ旅の魅力を紹介した。

第9回「若いうちに海外へ行って」理由

11月6日/D50番教室/講師:砥石航治氏(トロピカルリゾート・ライフスタイル株式会社/ホール支店マネージャー/法学部OB) 学生時代からバックパッカーとして世界中を旅してきた砥石氏は「体力や時間がある若いうちに海外へ行き、非日常から自身の幅を広げてほしい」と語った。また「旅をする」と「コミュニケーション能力・適応力などが向上する」とも話した。

第10回「Aloha! ハワイのビジネス・ストーリー」

11月11日/D41番教室/講師:高澤秀吉氏(Pacific Hi-Tek Inc.社長) 上ること、仕事においても役に立つ旅の魅力を紹介した。

第9回「若いうちに海外へ行って」理由

11月6日/D50番教室/講師:砥石航治氏(トロピカルリゾート・ライフスタイル株式会社/ホール支店マネージャー/法学部OB) 学生時代からバックパッカーとして世界中を旅してきた砥石氏は「体力や時間がある若いうちに海外へ行き、非日常から自身の幅を広げてほしい」と語った。また「旅をする」と「コミュニケーション能力・適応力などが向上する」とも話した。

第10回「Aloha! ハワイのビジネス・ストーリー」

11月11日/D41番教室/講師:高澤秀吉氏(Pacific Hi-Tek Inc.社長) 上ること、仕事においても役に立つ旅の魅力を紹介した。



経済学部経営学科(平成11年度卒・32期生) 前田 正義 株式会社エフエム北海道勤務

「AIR-G」でお馴染みのエフエム北海道は、1981年に設立された北海道初の民放FMラジオ局。パーソナリティと多彩なゲストによ



代理店に転職し、札幌での新規立ち上げに携わった。どんな業種でも新しく立ち上げるのは大変なことなのですが、

若い時の苦勞は買ってでもせよ

店の業績を上げることができました。そして、当時主流だったフリーペーパーを立ち上げ、4年たった後、その営業力を買われてエフエム北海道に引き抜かれた。



竹越広志北海学園札幌高等学校教頭による乾杯発声

平成27年度 豊平会総会・懇親会「同窓の夕べ」

同窓会「豊平会」総会・懇親会(同窓の夕べ)が10月24日(土)に札幌パークホテルで開催された。



フリーフォームレスジャズオーケストラの演奏



大いに盛り上がった学園グレイトビンゴ

同窓の夕べでは、竹越広志北海学園札幌高等学校教頭が乾杯を述べられた。そして、新たに加入した札幌南区支部に支部旗が授与された。



学園OB「Likely Faces」の演奏が行われ、豪華景品が当たる学園グレイトビンゴで会場を沸かせた。

第8回目となるホームカミングデーが10月10日、豊平校舎を会場に開催された。

第8回 ホームカミングデー

一教授、進行は法学部・樽見弘紀教授。河崎氏は受賞者書「嵐の王」を執筆するにあたり、作品の材料となった数々のエピソードを披露し、聞き手や聴講者から作品に関する様々な質問が寄せられた。



無料カイロ施術

三浦綾子文学全国移動展が7号館「階ホール」では、三浦文学全国移動展が開催された。



三浦文学全国移動展

即売会「北海マルシェ」、写真部OB主催の「写真展」が行われた。大学生協食堂では「学食d'ランチ」が催され、旧友と昼食を楽しむ姿が各所で見られた。

似鳥昭雄社長にフランス勲章 ニトリホールディングス(札幌)似鳥昭雄社長(経済学部OB)がフランス政府からレジオン・ドヌール勲章シユバリエ章を授与され、10月13日、在日フランス大使館にて授与式が行われた。

NPO法人北海道ジェロントロジー推進協会 創立5周年記念講演会 ジェロントロジー(老年学)の挑戦

人文学部 第3回総会大会 北海学園大学人文学部第3回総会・大会「文化の諸相」が11月14日、AV4教室で開催された。

「文化」を軸に「宗教」と「言語」を考察する 英米文化学科 上野誠治教授

人文学部教員の研究成果を広く社会に還元する「人文学の挑戦」が、紀伊國屋書店札幌本店で開催された。

「食行動からみる文化」 日本文化学科 須田一弘教授

自著を語る 3 人文学部准教授 佐藤 貴史 「アテネの人間性とエルサレムの神の啓示。二つの都市/廃墟から到来する死者たちの声が紡いだ二〇世紀ドイツ・ユダヤ思想の道筋をたどる」



経済学部2部 地域経済学科4年 川越 誠司

札幌市出身、北海高校卒業。小学2年から野球を始め、中学時代は投手、高校は4番右翼手。高校3年に春と夏の甲子園に出場し、大学では1年目からレギュラー。3年から4番投手兼外野手として活躍。今シーズンはケガで出場機会はなかったが、将来性をもって西武は投手として2位指名した。

本学から初！プロ野球ドラフト川越選手 西武から2位指名

「プロ野球選手になるのが夢です。練習内容は短時間で、あつて練習するということがすごく意味のあることだと感じました。」

「川越さんにとって野球の魅力とは？」

「なぜ本学の野球部へ？」

「川越：高校の時、最初は消防士を志望していましたが、公務員試験に落ちて北海学園大学に進みました。甲子園に2回行って燃え尽きたというかもありますが、公務員試験を受ける前くらいから、また野球をやりたいという気持ちで強くなり、大学の硬式野球部に入りました。」

「野球部の仲間とドラフト指名に大喜びでした。」

「今後の目標は？」

「川越選手。昼は野球の練習に。」

「川越：高校の時、最初は消防士を志望していましたが、公務員試験に落ちて北海学園大学に進みました。」

「川越：野球は9回2アウトになっても勝負はわからない。そのドキドキ感、やっていても、見ても楽しい、それが魅力です。」

「川越：僕は叶わないと思うけど、プロ野球選手としての目標であり続けるべきです。」

「本学硬式野球部からプロ野球選手が誕生する。」



「埼玉西武ライオンズ指名挨拶のため来学。」

「川越さんにとって野球の魅力とは？」

- 1部自治会・各種団体
1部自治会執行部
厚生委員会
1部十月祭実行委員会
1部新聞会
吹奏楽団
全学応援団指導部
全学応援団チアリーディング部
よさこいソーランチーム
HISTORY~とよき元氣隊~
経済学部ゼミナール協議会
文化協議会
アイセック(AIESEC)
囲碁研究会
英語会話研究会(ESS)
演劇研究会
会計研究会
カントリー&ウエスタン研究会
競技ダンス部
グリークラブ
国際交流サークルG.I.F.T.
コントラクトブリッジ同好会
雑学研究会
茶道研究会
1部写真部
ジャズ研究会
将棋研究会
情報処理珠算研究会
スポーツ観戦同好会
ダンスサークル CLUB RIZE
ダンスサークル MAPPA

- 体育会
アイスホッケー部
アメリカンフットボール部
空手道部(男子)
弓道部
剣道部
1部硬式庭球部
硬式野球部
ゴルフ部
サイクリング部
サッカー部
山岳部
柔道部
準硬式野球部
少林寺拳法部
スカッシュ部
スキーバタフライ部
ソフトテニス部
卓球部
軟式野球部
バスケットボール部(男子)
野球部
バレーボール部(女子)
バレーボール部(男子)
パワーリフティング部
ハンドボール部
ボクシング部
ライフル射撃部
ラグビー部
ラクロス部(女子)

「文化系部室棟の1階に学生部事務室がある。」

「充実した大学生生活をサポート。」



「本学Webサイト 全国第8位」

「全国第8位」

「学生部関係行事」

「充実した大学生生活をサポート」



「カナダ・レス大から交換教員リリー准教授着任」

「リリー准教授着任」

「学生部関係行事」

「充実した大学生生活をサポート」



左2番目から男子ラクロス部 豊田真希さん、中嶋亮さん、近藤歩さん(11月18日)

「学長室訪問」

「学生部関係行事」

「充実した大学生生活をサポート」

国際交流プログラム 海外研修で異文化体験

交流協定校
カナダ・ブロック大学

短期でも世界は変わる

人文学部2部 英米文化学科3年
加藤 梨菜

私は9月の6日から3週間、カナダ・ブロック大学の国際文化演習に参加しました。留学当初は自分の英語が伝わるのか、きちんと話しかけるのか不安に思いましたが、同じ家で共に過ごした中国人留学生の助けも



Grape Stampで北海学園大生と一緒に(右から5番目が筆者)

あり、徐々に発言に自信が持てるようになりました。授業後や週末には様々なイベントに参加しました。トロント市内の散策では、海外の都心を歩くことにより、自国の違いや良さがハッキリと目に見ることができました。トロント市内だけでも様々な文化が渦巻いていて、歩くたびに小旅行をしている気分を味わえました。学内のイベントではGrape Stampという、昔ながらのワインの製造方法を真似て、ブドウを踏み潰すお祭りに参加しました。最も汚れた人が優勝と聞いて、こぞってブドウに飛び込みました。

この経験を通して学んだことが「挑戦することの大切さ」です。英語で話してみようとか、まずは小さなことから思い切って行動してみると、何かが変わるかもしれません。

韓国の文化と優しさ

経営学部1部 経営学科3年
近江 真菜

私は韓国大田大学に3週間の夏季短期留学に行きました。韓国語を勉強していましたが授業についていけるかなど、とにかく不安な気持ちでいっぱいでした。実際に授業を受けて、先生は優しく楽しい内容だったのでついていくことができました。授業だけでなく現地の人との会話や、映画を見る中で徐々に力がつきました。他には全州に行き、チマ



全州でのチマチョゴリ体験(左から2番目が筆者)

チョゴリ体験や、韓国料理を作るなど、様々な韓国文化を体験することができました。その中でも一番印象に残っているのは、私たち留学生が困っているとき、その様子をみた韓国の方々がすぐに声をかけてくださり、たくさん助けをくれたことです。料理や伝統の文化を学ぶた

交流協定校
ロシア・ウラジーミル大学

ロシアの不便を楽しむ

法学部1部 政治学科3年
山根 圭輔

平成27年の夏休みはロシアのウラジーミルという地方都市へ留学してきました。ロシアは目に付くもの体験するものが日本と異なる。そしてそれは日々の生活の中でこそ気づかされる。



ウラジーミルでの若者フォーラムにて(左から2番目が筆者)

北方四島ビザなし交流

人文学部1部 英米文化学科3年
浅海 宏一郎

私は9月24日から5日間、寺田先生から紹介いただき、北方四島の現状を訪問して知る。訪問を通して、島内は日本でも報道されているように「ロシア化」が進み、日本人が生活していた痕跡は残っていません。しかし、日本人目線では「まだまだ遅れている」というのが現状です。

留学で様々な経験をすることで、言語能力だけでなく人間性も成長できました。留学してみたいと少しでも思う方はぜひ一度経験することを勧めます。

8月から9月にかけて海外研修が実施された。カナダ・ブロック大学、韓国・大田大学、ロシア・ウラジーミル大学に参加した学生3名と、北方四島ビザなし交流に参加した学生1名の体験記を紹介する。

留学生交流会

9月15日・16日に留学生会が主催している留学生交流が行われた。留学生交流会とは、留学生と一般学生・教職員が交流を深め、これからの学生生活をより一層充実させるための手助けと相互の親睦を深めるという目的で、毎年実施している行事である。

今年度の交流会は、1日目に旭山動物園、天人峡温泉、2日目に青い池、深山峠アートパーク、フランマルンエを訪れた。2日間とも天候に恵まれ、訪れた場所でも多くの交流の機会を持つことができ、充実した交流会となった。



上富良野町の深山峠展望台にて

例年は日帰りの旅程で毎年30名ほどの参加者がいるが、今年は4年に一度の宿泊を伴う旅程であった。今年度は宿泊を伴うためか、参加人数は留学生4名、一般学生7名、教職員1名と少人数での交流会となった。しかし、その分、参加した学生達からは「とても楽しかった」と、非常に好評であった。

今回の旅程では、様々な観光地を訪れることができ、参加した学生達からは「とても楽しかった」と、非常に好評であった。この交流会を機にできた繋がりを活かして、今後の大学生生活をより充実させていくことを期待したい。

アジアベンチプレス大会

10月2日から4日間、オマハ・マスカット市で開催された2015年アジアベンチプレス選手権大会で、本学的神谷篤季くん(法学部政治学科4年)がジュニア66kg級で優勝した。



パワーリフティング部 神谷 篤季 法学部政治学科4年

「長時間の移動がこたえた」と試合に向けての調整の難しさを痛感した。また、競技を通じて開国だけでなく、いろいろな国の選手と交流することができた。「国際大会は初めて。日本代表として出場できて、いい経験になった」と話した。

神谷さんがこの競技を始めたのは、大学に入ってからのこと。法学部政治学科4年(法学部政治学科4年)がジュニア66kg級で優勝した。記録は140kg。自己ベストの150kgには届かず、

学生生活なので挑戦してみよう」と、ボディビルと勘違いして入部。しかし、「いい先輩たちのおかげで徐々に力が入っていった。パワーリフティングは、自分の身体と向き合い、自分を追い込んでいくスポーツ。自分で考え、工夫し、やたらやっただけでは結果が数字に出てくるところがないですね。」

優秀賞・優良賞ダブル受賞

第60回文部科学大臣杯 全国青年弁論大会
11月3日、和歌山県の高野山で開催された第60回文部科学大臣杯全国青年弁論大会で、高野山山田祐也くん(経営学部経営学科3年)が優秀賞と高野山

場内に自分の声が響き渡り、みんなが自分の考えを聞いていた。その気持ち良さです。そして、自分は何に興味があり何を考えているのか、改めて知ることができた。現地に行き、感じたことを伝える。その経験は、人生の糧になると思っています。



経営学部3年・山田祐也くん(右)と人文学部2年・高松瑞樹くん

私の7分間

発表時間は6分以上7分以内。表現で意識していることは、簡単な言葉で、適切な間を持たせ、聴衆が聞きやすいものにすること。録音やビデオでチェックしながら一人で練習しました。及し、写真や動画、日記などあらゆる情報の保存をそこ

「言葉」は人間の強みであり、「書く・読む・話す」技術は一生磨いていくべきもの。私にとって弁論の7分間は生きがいです。弁論に必要なものは、自分の声だけ。誰でも自分の体一つでできることが一番の魅力です。

優秀賞(2位)
高野山山田祐也くん(経営学部3年)
優良賞(3位)
毎日新聞社賞
人文学部2年 高松 瑞樹

第64回 十月祭

第64回十月祭が10月10日から12日にかけて、豊平キャンパスで行われた。今年度のテーマは「おいでよ十月祭!!」。毎年ご来場くださっている方々に加え、今度十月祭に来たことがない学内外の方々にも気軽に来ていただくように、という想いを込めた。

盛大なオープニングで幕を開け、体育館ではロックバンドのケラケラと綾野ましろによるLIVE、野外ステージではJAZZコンサート。山鼻キャンパスでは10月10日と11日、第44回工学祭が開催された。「創造的」「猛者大集合!」「ほととぎす」がテーマの「記憶」です。今、パソコンサマホなどが普及し、写真や動画、日記などあらゆる情報の保存をそこ

今年度のテーマは「記憶」です。今、パソコンサマホなどが普及し、写真や動画、日記などあらゆる情報の保存をそこ

企業から見た 就活ポイント

今年度の就職活動は、解禁が3年生の3月、選考開始・内定は8月以降と大きく繰り下げとなり、学生たちの間には少なからず戸惑いがあったと思われる。企業の人事担当者から、採用意向や学生のなすべきことを伺った。



ハミューレ株式会社 管理部
 殿村 寛司
 経済学部経営学科
 (昭和58年度卒・16期生)

自分の足で企業の情報収集を

2015年卒の大学生の就職率は、景気回復に伴う求人増により、売り手市場の色彩が強く96.7%となりました。これはリーマンショック前の2008年卒の就職率96.8%に次ぐ高水準となったと言われます。それ故か2016年卒に対しては超売

混んだ結果を招きました。このことは、企業から見ると学生側の企業研究不足があるように感じられ、結果、離職率の上昇を誘因するのではないかと危惧しています。そのため、2017年卒の採用活動に関しては各大学に対して企業研究の充実を要求しています。そして、

企業側の要請を受けた各大学は学生に対して企業研究の徹底を指導し、おそろしくそれが学生の負担となることが見えられます。企業としては離職者を出さないために、採用活動の中に企業研究の機会を設け、さらに説明会から入社までの採用過程において、企業を印象づけ自社に関する新たな視点を与えることを重点課題としていくはず。では、学生がすべき企業研究は何かと言いつつ、自分に合う企業をどのように探し出すかを深く掘り下げて考えることだと思います。それは、まず自分が進みたい業界は何か、自分がやりたい職種は何かを見つけて、そこに焦点を当ててみる事です。可能な限り情報収集をし、業界業種を絞り込んでいくことが大事です。もちろん、情報収集の過程にはネット上で収集可能なものもあつたり、OBOGの体験談などもありますが、何よりも重要なのは実際に自分で会社に足を運び、自分の目で見て、企業の雰囲気や状況を肌で感じる事です。大変かもしれませんが自分の足を使って企業情報を確かめる事です。積極的に訪問する学生を企業は大歓迎します。是非、各企業の採用担当者に会社訪問をお願いして自分の目で会社を見て下さい。



教員による学部別個別相談会

2015 オープンキャンパスを終えて

今年度のオープンキャンパスは、6月、8月、9月の計3回実施しました。今年度の合計参加者は3908名で、昨年度より107名(2.8%)の増加となりました。オープンキャンパスでは、毎回趣向を凝らした取組みを行っています。全体説明会、教職員による個別相談会・模擬講義・模擬実験、学生スタッフによる

相談会や学内見学ツアーのほか、サークルによる演奏・演武(フリーフォームレズジャズオーケストラ、アカペラサークルLapis、応援団、吹奏楽団)の披露もあり、特に生演奏は参加者も盛り上がり大変好評でした。保護者対象説明会には、3回のオープンキャンパス合計で314名が参加しました。受験から入学後までの必要経費、就職活動など学生支援に関する説明の後、学内見学ツアーも実施しました。山鼻キャンパスでは、工学部各学科による「体験学習」が行われ、多くの高校生が入学後のイメージを持てたものと思えます。北海学園生協で開催された入学後の住まい相談には、100名を超える相談者がありました。



本学吹奏楽団による演奏ミニイベント

2部(夜間部)対象 オープンキャンパス実施

今年度は2部(夜間部)対象のオープンキャンパスを実施しました。夜の講義を同時刻で体験することができ、実際の学生の様子も垣間見ることが出来ます。予想を上回る232名もの高校生や社会人が参加しました。また、夜の時間帯にもかかわらず、40名の保護者が参加され、相談会は盛況に終わりました。

地方都市での「ミニオープンキャンパス」は、函館(10月3日)、帯広(10月24日)、旭川(10月31日)いずれも土曜日の午後2時より開催されました。大学より延べ23名の教職員が出向き、札幌でのオープンキャンパスに参加できない方に大学のことを少しでも知ってほしいとの思いで、学部相談会、保護者説明会、推薦入試対策講座が実施されました。一人ひとりに

進学を希望しつつも、経済的な負担や勤務時間との調整など課題を抱える方が多数いる現実を再認識し、本学の夜間部の重要性を痛感しました。2部は、毎年500名の入学者があり、北海道の人材供給にも大いに役立っています。18歳人口の減少や経済的要因による志願先の絞り込み、授業料の安い国立志向の影響は、オープンキャンパス参加者数にも表れてくるものと考えられます。現実を直視して、本学教職員の出前講義やテレビのスポットCMおよび地下鉄車内広告などでの積極的な広報活動を行い、「ミニオープンキャンパス」への来場者数をさらに増加させるべく、広報のあり方を検討します。これからの進学相談会は高校1年生・2年生を対象となりますが、3年生も詳細な情報を求めて来場することが予想されます。一人でも多くの学生が本学に入学することを願っています。

GIP 成果報告会

キャリア支援センターが実施しているGIP(北海学園大学インターンシッププログラム)の成果報告会が10月29日と30日、41番教室で行われた。このプログラムは学生が適切な職業職種を選択するための就職指導で、夏季インターンシップ(就業体験)実施の事後研修として成果報告会を開いている。今年度GIPには119社・451名、報告会には251名が参加した。



大勢の参加者が成果報告を聞いた



男性用トイレ



男性用トイレの手洗い場

5号館トイレ改修

9月24日、豊稗校舎5号館5、6階間トイレの改修工事が終了し、利用が再開された。男性用女性用共に個室は和式便器から洋式便器へ、照明は白色蛍光灯から人感センサー付LEDライト(温白色・電球色)へと換えられ、トイレ内全体が以前よりも明るく暖かな雰囲気へと一新した。また、女性用は、手洗い場とパウダーコーナーを別々に設置し、利用目的に合わせた広々としたレイアウトへ変更され、男性用は、小便器同士の距離が以前よりも広く開けられ、学生が快適に利用できるような細部に工夫が凝らされている。



女性用トイレの手洗い場とパウダーコーナー



バトラーによる発表の様子

「BUB! GUB! 学園大BUB!オバトル」が11月4日、北海学園生協GBOOKSで開催された。BUB!オバトルとは本を使ったコミュニケーションゲーム。複数のパトラー(発表者)が5分間、アドリブで本を紹介し、最後に聴講者が一番読みたくなった本に投票し、チャンピオンならぬ「チャンプ本」を決定するというもので、毎月1回開催されている。

BUB!オバトル開催

経済学部地域経済学科3年
わたべ 渡部 瑠平
研修先
中道リース株式会社

法学部法律学科2年
さとう 佐藤 恭宇
研修先
北海道経済部
地域経済局国際経済室

人と関わる営業職に魅力 将来の進む方向が見えてきました

先輩から就職活動の話聞いて漠然とした不安があり、なにかヒントを掴もうとインターンシップに参加しました。3日間の研修で一番印象に残っているのは、営業の方に同行して打ち合わせを間近で見られたことです。人と関わることが好きで営業に興味があり、円滑なコミュニケーションのためのお客様との距離感や言葉遣いなど、インターンシップ活動報告。姿勢が現在の自分に足りない気がしました。そして、将来の進む方向が見えてきて、今後どうすれば社会に役立てられるようになったかをしっかり考えることができました。また、書類作成や各種手続き等、様々な業務に法律の知識が必要だと分かり、今後も大学でしっかり学んでいきたいと思えます。インターンシップは、将来何をしたいか決まっていなくても参加すべきだと思えます。新しい発見があり、いろいろなものを吸収し、失敗してもその経験から進みたい道が見えてきます。来年もインターンシップに挑戦する予定です。

平成28年度 入試日程 一般入試・大学入試センター試験利用入試・社会人特別入試Ⅱ期・大学院 修士課程Ⅱ期・博士(後期)課程・法務研究科C日程

一般入試と大学入試センター試験利用入試		試験日		出願期間		合格発表		
学部	学科	一般入試	センター試験利用入試	一般入試	センター試験利用入試	一般入試	センター試験利用入試	
大学	* 経済学部 (経済学科・地域経済学科)	2/9(火)	2/10(水)	【郵送受付】 1/4(月)~1/28(木) 消印有効 【窓口受付】 1/4(月)~1/29(金) 午後4時締切	【郵送受付】 1/4(月)~1/28(木) 消印有効 【窓口受付】 1/4(月)~1/29(金) 午後4時締切	I 期 2/24(水)	II 期 3/18(金)	
	経営学部	2/10(水)	2/11(木)					
	* 法学部 (法律学科・政治学科)	2/11(木)	2/12(金)					
	人文学部	2/12(金)	2/12(金)					
	工学部	社会環境工学科	2/10(水)					2/11(木)
		建築学科	2/9(火)					2/10(水)
		電子情報工学科	2/10(水)					2/11(木)
		生命工学科	2/11(木)					2/12(金)

社会人特別入試【Ⅱ期】		試験日		合格発表	
学部	学科	一般入試	センター試験利用入試	一般入試	センター試験利用入試
大学	* 経済学部2部	2/13(土)~2/20(土)	2/13(土)~2/22(月)	2/27(土)	3/17(木)
	経営学部1部	2/13(土)~2/20(土)	2/13(土)~2/22(月)		
大学院	経済学研究科	1/8(金)~1/22(金)	2/20(土)	2/29(月)	長期履修・社会人特別制度があります
	経営学研究科	1/8(金)~1/22(金)	2/20(土)	2/26(金)	
	法学研究科	1/8(金)~1/22(金)	2/19(金)	3/2(水)	
	文学研究科	1/8(金)~1/22(金)	2/20(土)	2/26(金)	